

SKY Corsaire

y*s コルセイル

2つの声 ◆ 2つの鍵盤 ◆ 魔法のシンフォニー

みすゞと
若きアルケミストたち

ひとりの文学青年が16年の旅の果てに
辿り着いた3冊の手書きの詩集…
全世界に金子みすゞの詩を届け
みすゞ魅りの父ともいえる童謡詩人・矢崎節夫氏と
みすゞノスタルジー・メルヘンなど
独自のコンセプトで展開してきた音楽海賊コルセイル
冒険とユーモアあふれる
文学と音楽のコラボレーションコンサート

◆ゲストトーク◆

矢崎節夫(金子みすゞ記念館館長)

2026 1/17 土 開演 18:00
(開場 17:30)

彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
JR埼京線 与野本町駅より 徒歩7分



y*s Corsaire HP
<https://www.yscorsaire.com>

お問い合わせ

yscorsairejp@gmail.com

チケット申し込みフォーム

前売券 3,000円

(当日券 3,500円)

中学生以下 2,000円

全席自由



協力：JULA出版局・かすかべ藤ライオンズクラブ



金子みすゞ(1903-1930)

「私と小鳥と鈴と」などで知られる童謡詩人です。26才で夭折したにも関わらず、その作品は時代や国境を超越し今なお愛され続けています。生誕120年の節目を迎えた2023年には、15言語目となるジョージア語に翻訳されました。

コルセイルは「みすゞ×メルヘン」「みすゞ×ノスタルジー」など、様々なコンセプトで、みすゞの詩とコラボレーションしてきました。万人を惹きつける普遍的な魅力だけでなく、時代のトップランナーであり、素晴らしいクリエイターであったみすゞの、知られざる側面に光をあてるコルセイルのオリジナル楽曲は、みすゞの詩を未来につなぎ、さらに広めていくための新たな扉をひらくかもしれません。

矢崎節夫 ● やぎきせつお

1947年 東京生まれ。早稲田大学文学部卒業。在学中より童謡・童話の世界を志し、佐藤義美、まど・みちお氏に師事。1982年 童話集『ほしとそらのしたで』(フレーベル館)で、第12回赤い鳥文学賞を受賞し、童謡・童話の著書多数。自身の創作活動の傍ら、学生時代に出会った1編の童謡「大漁」に衝撃を受け作者である金子みすゞの作品を探し続けた。16年もの歳月を経て、3冊の直筆の遺稿手帳にたどりつき、『金子みすゞ全集』(JULA出版局)として出版、以後その作品を、国内のみならず全世界に発信し、伝えている。

各地で行う講演では、若い世代にむけて、みすゞのまなざしや魅力について語ることも多く東日本大震災の折は、募金活動により東北3県の小中学校に詩集を送った。2014年「金子みすゞと魅力」に努めた業績と、童謡集『うずまきぎんが』(JULA出版局)が評価され、第13回童謡文化賞を受賞している。

2003年4月
金子みすゞ記念館(山口県長門市)館長に就任。



Y*S Corsaire

演奏/うた/作曲/編曲



シンフォニックで幻想的な音楽空間演出を真骨頂とするふたりは、電子ピアノ2台の音色を駆使し、常識では思いつかないようなアレンジや作業分担をかさね、音楽という美しいストーリーを描きだそうと日々、試行錯誤をくりかえしています。音響や視覚による効果も含め、多層的に練り上げられたプログラムに身を委ねれば、観客はいつしか遠い異世界に迷い込んだような感覚に囚われることでしょう。四手による演奏、声にも楽器にもなるツインボーカルの掛け合い、テーマに合わせて変幻自在のコルセイルのステージは、見どころ聴きどころ、笑いどころ満載です。

そして、童謡詩人・金子みすゞの詩にオリジナルの曲をつけることは、コルセイルのライフワークです。みすゞが生きた時代やその眼差しがとらえた様々な事象を、音楽で鮮やかに再構築した作品群は、独創的かつ清新なスタイルを確立。聴く人の想像力をかき立て、心を揺さぶりながら、東京・埼玉・宮城・高松・山口など各地で高い評価をえています。「なんと自由に楽しくまっすぐ、みすゞさんに向き合っているのだろう。このように深く、みすゞさんを描いた音楽表現は今までなかったように思います」とコメントを寄せてくれた矢崎氏との共演は、コルセイルにとって長年の夢でした。対談ではどんなトークが飛び出すのやら…ご期待下さい！

音あそびラボ 木下大輔

「音遊びラボ」は地域音楽コーディネーターとして地域の仲間と楽しい音楽の場を作っています。主な活動は自由な楽器あそび体験やお子さん向け～高齢者さん向けなど様々な参加型コンサートの企画・演出ギター教室の運営など。体験や表現を通じて音楽を“自由に、自分らしく”楽しんだり、居場所を見つけられたり、そんな存在になれたらうれしいです。



ゲスト出演

Susukeke 慎&幸

幼少期よりじゃれあいながら育ってきた二人。今を生きる若者たちが紡ぐ、粗削りでも瑞々しい歌声や純粋なサウンドが、みすゞの感性と対峙します



【さいたま芸術劇場 アクセス】



JR埼京線与野本町駅(西口)下車 徒歩7分



●みすゞの本● 発行・JULA出版局 発売・フレーベル館

代表的な作品が読める!

金子みすゞ童謡集
選 矢崎節夫 / 装丁 押部 高島純
B6変型 / 160頁 / 1,995円(税込)
ISBN978-4-977-01025-1

512編すべての作品が読める!

金子みすゞ童謡全集
監修 矢崎節夫 / 装丁 押部 高島純
A5判 / 480頁 / 3,960円(税込)
ISBN978-4-977-05104-7

40年愛される、最初のみすゞ絵本!

金子みすゞ
ほしとたんぼ
選 矢崎節夫 / 絵 上野紀子 / デザイン なかえふし
B6変型 / 32頁 / 1,760円(税込)
ISBN978-4-977-05234-1

JULA出版局 〒113-0021 東京都文京区本郷2-6-14 9F フレーベル館内 TEL.03-5395-6657 FAX.03-5395-6659 <https://www.jula.co.jp> E-mail memiko@jula.co.jp